

●令和7年度 総括的概要

令和7年度は、緩やかな回復基調を維持したものの、原材料価格の高騰や深刻な人手不足、賃上げに伴うコスト増が経営を圧迫する「コストプッシュ型インフレ」に近い状況が続きました。

一方で、これらの課題を克服するための生産性向上（DX推進）や、適切な価格転嫁に向けた経営改善を促す契機ともなりました。

このような中、当所では、正田会頭が掲げる3つの基本姿勢（1. 会員満足度の向上、2. 会員拡大及び財政改善、3. 職員の育成）を念頭に、組織基盤のさらなる強化に努めました。

全会員事業所への巡回訪問を継続し、「かかりつけ医」のような身近なワンストップ相談体制を充実させることで、会員の皆様との信頼関係を深め満足度の向上を図りました。

個社支援においては、事業者の本質的な経営課題解決に向けた「提案型伴走支援」を実施し、国の補助金制度活用に向けた事業計画策定支援を強化いたしました。特に補助金申請支援では、専門家派遣やオンライン相談を併用した迅速な対応を行い、小規模事業者持続化補助金では65件の申請支援をいたしました。

金融面では、マル経融資の積極的なあっせんを行い、年間27件・金額235,100千円の実績を上げ、小規模事業者の資金繰りと経営の安定化を図りました。

人材確保・創業支援では、合同企業ガイダンスの実施や特定創業支援事業による個別指導、創業パンフレットの配布等により、地域雇用の促進と潜在的な創業ニーズの掘り起こしに努めました。



▲作成した創業パンフレット



▲麺-1祭り館林の開催

地域振興・観光支援では、飲み屋マップ作成、「激グルメ総選挙」や「麺-1祭り館林」を開催し、食を通じた交流人口の拡大と市内飲食店の活性化を図りました。

また「里沼めぐり周遊巡回バス」を実験運行し、将来の定時運行化や観光ルート最適化に向けたデータ収集・検証を行いました。



▲館林市への要望書提出

提言・要望活動では、館林市に対し「創業・事業拡大支援の強化について」や「人材確保に向けた支援策の充実」など8項目の要望書を提出いたしました。

今後も、職員の支援能力向上と会員事業所への巡回訪問強化を図り、国・県・市等の施策を迅速に事業者の皆様へ届け伴走支援することで、持続可能な地域経済の発展を目指してまいります。

令和7年度収支決算

一般会計	75,248,261 円
相談所会計	54,286,570 円
総計	129,534,831 円

一般会計

(収入)	単位：円	構成比%	(支出)	単位：円	構成比%
会費	29,418,750	39.1	一般事業費	12,318,666	16.4
事業収入	21,005,219	27.9	委託・補助事業費	5,536,661	7.4
補助金	8,375,540	11.1	管理費	43,357,770	57.6
委託金	7,560,000	10.1	繰出金	8,758,140	11.6
諸口	8,888,752	11.8	次年度繰越金	5,277,024	7.0
計	75,248,261	100	計	75,248,261	100

相談所会計

(収入)	単位：円	構成比%	(支出)	単位：円	構成比%
県補助金	36,531,290	67.3	経営改善普及事業費	1,579,620	2.9
市補助金	900,000	1.7	経営発達事業費	5,586,835	10.3
国補助金	9,831,445	18.1	制度改正等の課題解決	299,103	0.6
繰入金	5,700,000	10.5	環境整備事業費	3,958,653	7.3
諸口	1,323,835	2.4	事業環境変化対応型支援事業費	40,315,289	74.2
計	54,286,570	100	管理費	1,500,000	2.8
			福利環境整備費	1,047,070	1.9
			次年度繰越金		
計	54,286,570	100	計	54,286,570	100